

# 15 「品質コスト」見える化セミナー

品質をコストで定量化することで、改善活動の必要性、プライオリティづけ等に活用できることから、本講座では品質コストの考え方、活用方法などを学習する。

対 象 ● 品質(ロス)コストを定量化し、改善活動、ツール適用の必要性を訴えたい方  
● 品質コストの算出方法を学びたい方

講 師 野元 伸一郎 みらい(株) シニアディレクター  
北陸先端科学技術大学院大学  
非常勤講師

会 期 ● 2025年 6月24日(火) [オンライン]  
● 2026年 2月24日(火) [オンライン]

参加料 (税込)	日本能率協会法人会員	35,200円／1名
	JMAでISO審査を受けている企業	35,200円／1名
	上 記 会 員 外	38,500円／1名

※テキスト(資料)費が含まれております。

# 16 委託先チェックリストの効果的活用術

◆ 外部設計/製造委託先選定にあたっての評価・分析手法を学びます。  
◆ 外部設計/製造委託先のマネジメントのポイントを学びます。  
◆ 委託先チェックリストを含むツールを提供します。

対 象 ● 電機、精密機器、機械メーカー等の設計・購買・品証部門等のマネジャー、担当者

講 師 野元 伸一郎 みらい(株) シニアディレクター  
北陸先端科学技術大学院大学  
非常勤講師

会 期 ● 2025年 7月30日(水) [オンライン]  
● 2026年 2月 9日(月) [オンライン]

参加料 (税込)	日本能率協会法人会員	35,200円／1名
	JMAでISO審査を受けている企業	35,200円／1名
	上 記 会 員 外	38,500円／1名

※テキスト(資料)費が含まれております。

# 17 品証・品管マンのための「QC7つ道具」を使いこなせるようになるセミナー

「QC 7つ道具」と言われるパレート図、特性要因図、グラフ、管理図、チェックシート、ヒストグラム、散布図などを、複数組み合わせることによって、従来とは違う視点から問題・課題を発見できるようになることを目的に開催いたします。

対 象 ● 品質保証、品質管理部門の担当者

講 師 野元 伸一郎 みらい(株) シニアディレクター  
北陸先端科学技術大学院大学  
非常勤講師

会 期 ● 2025年 8月26日(火) [オンライン]

参加料 (税込)	日本能率協会法人会員	35,200円／1名
	JMAでISO審査を受けている企業	35,200円／1名
	上 記 会 員 外	38,500円／1名

※テキスト(資料)費が含まれております。

JMA152343

3時間

プログラム

9:00～12:00

1 品質に関する指標

●様々な品質指標

●不良発生の与える影響～発生するコストをミニマム化する必要性

2 品質をコストで表す

●品質コストの基本的分類と展開の考え方

●可視コスト／潜在コストと機会損失コスト

3 前向き品質コスト

4 品質ロスコスト

5 品質コストマネジメントの活用方向と事例

6 ミニケーススタディ

7 まとめ

※内容は変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

JMA152026

3時間

プログラム

9:00～12:00

1 委託先選定・評価・マネジメントにあたっての困りごとと課題

2 自社の委託先活用レベル自己診断

●ISO9001の要求事項

●自己診断実施

●自社の強み・弱みを知る

3 委託先の設計/製造プロセスに踏み込む

●先方から出されたエビデンスを100%信じない

●内部監査手法の効果的活用

●今後はカーボンニュートラルも評価視点となる

●求められるスキルセットとレベルアップに向けて

4 委託業務パッケージの構築

●委託先評価チェックリスト、契約書、品質保証体系図、その他テンプレート

5 ミニケーススタディ

6 まとめ

※内容は変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

JMA152481

3時間

プログラム

14:00～17:00

1 そもそもQC7つ道具とは

2 QC7つ道具を複合的に活用する

●ケース解説1：魚の骨(特性要因図)でマクロに課題設定後、パレート図、グラフ等を用いて、品質トラブルの真の原因を追及する

●ケース解説2：グラフでマクロな品質トラブルの課題設定を行い、魚の骨(特性要因図)を活用してなぜなぜ分析に展開する

●ケース解説3：魚の骨(特性要因図)とチェックシートを連動させ、検査票とする、等

3 ケーススタディ

4 まとめ

※内容は変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

# 18 ISO9001経営者・幹部実務セミナー

経営・事業・ISOの一体化へ経営者が果たすべき役割を半日で学ぶ。

対 象 ● ISO9001 認証取得組織の経営層、管理責任者の方々

講 師 小林 久貴 (株)小林経営研究所 代表取締役

会 期 ● 2025年 6月19日(木) [オンライン]

参加料 (税込)	日本能率協会法人会員	37,400円／1名
	JMAでISO審査を受けている企業	37,400円／1名
	上 記 会 員 外	41,800円／1名

※テキスト(資料)費が含まれております。

# 19 IATF16949対応 QMS内部監査員養成コース

◆ IATF16949内部監査の3つの要求事項(「QMS監査」、「製造工程監査」、「製品監査」)のうち、「QMS監査」の監査員を養成する。  
◆ IATF16949内部監査員に必要な監査スキルや監査ポイントが学べる。  
◆ 内部監査をより有効に機能させることを目的に、内部監査員の力量を引き上げられる。  
◆ 本コース修了者には修了証を授与いたします。

対 象 ● IATF16949内部監査員候補の方々  
● IATF16949社内推進事務局責任者・リーダー  
● 各部門の管理者・責任者・リーダー

講 師 小林 久貴 (株)小林経営研究所 代表取締役

会 期 ● 2025年 6月 3日(火) [名古屋]  
● 2025年 8月21日(木) [オンライン]  
● 2026年 2月10日(火) [名古屋]

参加料 (税込)	日本能率協会法人会員	41,800円／1名
	JMAでISO審査を受けている企業	41,800円／1名
	上 記 会 員 外	47,300円／1名

※テキスト(資料)費が含まれております。

# 20 自動車産業品質マネジメント規格 IATF16949理解促進コース

IATF16949規格要求事項の各条項のポイントと16949のコアツール(中核技法)と呼ばれるAPQP,PPAP,FMEA,SPC,MSAの5つについて解説する。

対 象 ● IATF16949事務局、推進担当者、管理責任者  
● 自動車部品や自動車関連機器メーカーに勤める管理者及び実務担当者

講 師 小林 久貴 (株)小林経営研究所 代表取締役

会 期 ● 2025年 7月 7日(月)～ 7月 8日(火) [オンライン]  
● 2025年 9月17日(水)～ 9月18日(木) [名古屋]  
● 2025年11月27日(木)～11月28日(金) [オンライン]  
● 2025年12月16日(火)～12月17日(水) [名古屋]  
● 2026年 2月17日(火)～ 2月18日(水) [オンライン]

参加料 (税込)	日本能率協会法人会員	79,200円／1名
	JMAでISO審査を受けている企業	79,200円／1名
	上 記 会 員 外	91,300円／1名

【1日目(規格解説編)または2日目(コアツール解説編)のみの1日参加】

参加料 (税込)	日本能率協会法人会員	41,800円／1名
	JMAでISO審査を受けている企業	41,800円／1名
	上 記 会 員 外	47,300円／1名

※テキスト(資料)費が含まれております。

JMA100049

半日

プログラム

13:30～17:00

1 何のために品質マネジメントシステム(QMS)をやっているのか?

2 経営者が知っておくべき品質マネジメントの原則

3 経営者が押さえるべきISO9001:2015年改訂のねらいとポイント

4 経営に役立つ品質マネジメントシステムをどのように構築するか?

(1) 現状把握

(2) 顧客の明確化

(3) 顧客のニーズ・期待の明確化

(4) リスクと機会の明確化

(5) 品質方針の展開を見直す

(6) プロセスの管理方法の決定

(7) QMSを改善するための仕組みの決定

5 事例で考える経営者がやるべきこと

※内容は変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

JMA151694

1日間

プログラム

10:00～17:00(昼休み/12:00～13:00)

◆ガイダンス

1 IATF16949が求めるQMS内部監査員の力量

2 自動車産業プロセスアプローチとは

3 IATF16949が求めるリスクに基づく考え方

4 プロセスアプローチ監査とは 演習1

5 内部監査の基本

6 内部監査の準備 演習2

7 内部監査の実施 演習3 演習4 演習5

8 内部監査の報告 演習6

9 内部監査の是正処置

10 コアツールと監査のポイント 演習7

11 IATF16949が要求する第二者監査

12 理解度テスト

13 フィードバック

◆質疑応答 (まとめ)

※内容・受講形態は変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

JMA100656

2日間

プログラム

10:00～17:00(昼休み/12:00～13:00)

◆ガイダンス

1 IATF16949の概要と特徴

2 IATF16949要求事項の適用

3 IATF16949要求事項の理解

●4. 組織の状況 ●5. リーダーシップ ●6. 計画 ●7. 支援

●8. 運用 ●9. パフォーマンス評価 [意図及び要求事項について解説]

●10. 改善 [意図及び要求事項について解説]

◆文書化したプロセス

◆理解度確認テスト

◆質疑応答

◆ガイダンス

1 コアツールとは

2 APQPの概要

3 APQP理解演習

4 PPAPの概要/理解演習

5 FMEAの概要

6 FMEA故障モード・影響抽出演習

7 FMEA実施演習

8 SPCの概要

9 管理図理解演習

10 MSAの概要

11 %GRR演習

◆理解度確認テスト ◆質疑応答

※内容は変更される場合があります。あらかじめご了承ください。